
青空の下で

冥王星 1 1

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青空の下で

【Nコード】

N6877Z

【作者名】

冥王星 11

【あらすじ】

僕の心はだいぶ昔に壊れた。

少女の心は最近壊れた。

人生に絶望して死のうと決意したあの日僕は少女に会った。

そして僕は少女に恋をした。

そして少しずつだけ壊れた心に希望の光が照らされはじめた。

これは死にぞこないの僕と純粋な少女の人生の延長戦のはなし。

序章

「ねえ、天国ってどんなところなんだろう?。」

それは雲一つなく空が真っ青なよく晴れた日のことだった。

いつものように僕と少女は隠れ家になっていた森の奥の秘密基地で日向ぼっこをしていた。僕は半ば寝るか寝ないかのギリギリのラインだったのだが突然放たれた少女のあまりに不思議な質問のおかげですっかり目が覚めてしまった。

「天国?」

僕は少女の言葉の意味をうかがうように聞き返した。

「そう天国」

すると少女はほんの少し僕の方に顔を近づけさっきよりも強い口調でいった。いつみても純粹の一言で言い表せるそのキラキラした瞳。少女のそういうところに僕は恋をしている。

でも彼女のそういうところが怖かったりもする。純粹なあまりに予想を超えた質問や行動をしたりおこしたりすることがよくあるのだ。

まあでも可愛い方の思いが強いかも。

「そうだなあ、天国ってのは普通の人間の解釈だと簡単に言えばいいことをした人がいくところかなあ。」

「いいことをした人？」

「そう、いっぱい人のために何かをしたり自分の身を犠牲にしても立派なことを成し遂げた人、そういう人が天国にいけるんだ。天国には立派に生きてきたご褒美に見たこともないようなご馳走やふかふかのベットで昼寝したり天国の友達と一日中遊んでられるんだよ。」

「うわあ！　すごくいいとこなんだね」

少女は僕の話を純粹に信じているらしく目をキラキラさせて僕にまします顔を近づけた。

「私も死んだら行けるのかな天国？」

少女は心配そうに僕に尋ねた。

「行けるよ・・・きっと。」

僕は思ったことを正直に口にした。

「ほんと？」

だって・・・だって少女が天国に行けなかったら誰が天国に行けるんだ。こんな優しい子が天国に行けないとしたら天国なんてきつと、いや絶対ない。

僕はきつと地獄に落ちる。

覚悟はしている。

それだけの罪を僕は犯してきた。自分の背負ってる十字架の重みも十分理解してるつもりだ。

だからたぶん死んだら少女と僕は引き裂かれる運命なのだろう。

でも万が一の可能性で。いや億が一の可能性で、生まれ変わって彼女にあえるのだったら。

また二人でいられるのだったら。

僕は地獄でどんな試練でもどんな拷問でも受け止めることができる。それだけは断言できる。

「どうしたの？」

少女の声で我に返ると心配そうにこちらをみている少女の顔が僕の顔のまじかにあった。

「いや・・・なんでもないよ。」

ちよつと照れを隠しながら僕は少女と一定の距離とるべく少し距離をとった。

「今日は平和な一日だね」

少女の一言、それはお互いに結構意味のある一言なのだ。

ここでは詳しくは言わないが僕と少女の心は表現しにくいのだが。

簡単にいえば壊れている。

僕は随分昔に

彼女は二年くらい前に。

お互いに心が壊れあっているものどうし惹かれあって寄り添ってるのかと聞かれるとおそらく少女も僕も「ノー」と言うだろう。

たぶんそれとはちょっと違った意味合いで一緒にいるのだと思う。

それを言葉で表現するのが一番難しいのでそれはご想像に任せるとしましよう。

少女と僕がであったとき・・・

その時のなしをするにはまず僕の心が壊れた時の話をしなくてはいけない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6877z/>

青空の下で

2011年12月23日00時52分発行